

## 令和7年度 学校評価の4点セット [1学期]

学校名

別府市立青山中学校

【学校の教育目標】				自ら学びに向かい、協働して課題解決する青中生の育成						
【育成を目指す資質・能力】				「基礎基本的な知識・技能」「問題解決能力」「協働性」						
重点目標	担当	資質・能力		達成指標	分担	重点的取組	取組指標	取組状況の評価	達成状況の評価	改善点
		知識・技能	表現力・思考力・判断力・							
基礎基本的な知識・技能の定着	教務主任・研究主任・各教科主任	○		○定期考査において、30点未満の生徒の割合が20%未満 ○別府市学力調査において、「基礎」の正答率が母体平均以上	学校	○基礎基本の定着に向けた補充学習の実施	○毎日10分間のドリルタイムを年間を通して実施する ○定期考査前に、補充学習の時間を設定する ○単元ごとに1回以上、小テスト等により定着状況を把握する。			
のる思惑者と力協働し判断力者・え表を現深め	教務主任・研究主任	○	○	○「他者の意見を聞き、考えが深まつたり、広がつたりした」と感じる生徒…50%以上 (R6年7月54.9%、12月58.6%) ○別府市学力調査において、「活用」の正答率が母体平均以上	学校	○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 【授業改善の重点】 ①「めあて」「課題」「まとめ」「ふりかえり」の設定 ②学び合いの場(ペア・グループ等)の設定 ③ICTの効果的な活用	○「授業改善の重点」を踏まえた授業を日常的に実施する ○全教員が年間2回以上の公開授業(一人一実践・互見授業)を実施する			
人間関係形成能力の育成	生徒指導主事・教育相談C.N		○	○生徒アンケートで下記項目の肯定率80%以上 「自らすんであいさつするよう心がけている」「ルールやマナーを意識して学校生活を送ることができている」「相手の気持ちを配慮した言葉遣いができる」	学校	○人間関係づくりに係るスキル向上のための取組の実施	○「人間関係づくりプログラム」を2週間に1回以上実施する ○マナー検定を、全学年で実施する ○学年ごとに、「ことばについて考える週間」を学期に1回以上実施する			
					家庭	○家庭内でのあいさつの実践	○保護者から子どもへ積極的なあいさつを行う			
					地域	○あいさつ運動の実施	○毎月1日の朝、学校・PTA・地域の三者によるあいさつ運動を行う			

### 【子どもと向き合う時間の確保に向けて】

校務の効率化	校長・教頭	○教職員の時間外勤務時間の平均が、令和6年度以下 (勤怠管理システムにより比較) 令和6年度9~12月平均 31.1時間	学校	○勤怠管理システムによる適正な勤務時間管理 ○教職員の意識改革	○運営委員会において、月1回勤務実態に基づいて改善策を協議する ○毎月1回ノー残業デーを設定する			
--------	-------	--	----	------------------------------------	---	--	--	--

※評価(S:100%超過 A:80%以上～100%以下 B:60%以上～80%未満 C:60%未満)